

平成14年10月25日

各位

東京都新宿区揚場町2番1号
大興電子通信株式会社
代表取締役社長 牧野誠毅
(コード番号8023 東証第二部)

問合せ先

取締役管理本部長 真下 宏明
(TEL03-3266-8111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年5月17日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成15年3月期中間業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年5月17日発表)	20,000	300	320
今回修正予想(B)	19,627	38	21
増減額(B-A)	373	338	341
増減率(%)	1.9	-	-
前期(平成14年3月期)中間実績	20,234	892	1,316

2. 平成15年3月期通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年5月17日発表)	42,000	100	60
今回修正予想(B)	40,000	100	60
増減額(B-A)	2,000	-	-
増減率(%)	5.0	-	-
前期(平成14年3月期)実績	42,118	1,564	2,795

3. 修正の理由

当中間期は、情報通信機器・ネットワーク工事の売上高は予想を下回りますが、事業構造改革の柱であり利益率の高いソフトウェア開発・サポートサービスの売上高は予想を上回る見込となります。利益においては、売上高総利益率の改善に加え、人件費他固定費削減が寄与し、当中間期の経常利益は38百万円、中間純利益は21百万円とそれぞれ当初予想を上回り、黒字転換を果たす見込であります。

通期の見通しにつきましては、国内景気低迷の影響を受けた企業の情報化投資抑制、激しい価格競争など事業環境の不透明感が強く、売上高は前回予想を下回る400億円を見込んでおります。

以上